

千葉県議会議員 田沼たかし

(四街道市選出)

四街道
新時代!

公約実行! レポート 第19号

発行日 令和5年11月10日



大決断!政治刷新のため、日本維新の会へ! 千葉9区支部長となり、衆議院に挑戦!

私、田沼たかしは、日本維新の会に入党します。

洋上風力発電に関して、私たちの地元の自民党衆議院議員が逮捕されました。業界団体からの、7000万円超もの賄賂が疑われています。更にはコロナ禍で苦しむ会社を救うはずの”持続化給付金”200万円も、だまし取った疑惑も…しかも当議員は全く説明責任も果たしていません。

大変残念です…! これはもう、許すことのできない、地元の”恥”です!政治に失望した方も多いと思います。私も悔しいです。

今こそ、政治家と一部団体が癒着する、古い政治を、刷新しなければなりません…!

この千葉9区からこそ、一部のためではなく、国民みんなのための政治を、取り戻さなければなりません。

その刷新は、自民党ではできません。業界団体等から票・金をもらい、代わりにその意向に応える、政官業の癒着トライアングルに、まるまる依存したままだからです。野党・立憲民主党も、組合依存。やはり一部のための政治です。

“維新”の出番です! かつて衆議院議員時代に所属した、日本維新の会は、企業・団体献金を受け取らず、しがらみのない政治を貫いています。だからこそ、癒着を断つことができるのです。私は長年無所属でしたが、いま刷新ができるのは維新だけだと思い、再びの入党を決断しました。



そして、

衆議院千葉9区の支部長(次の衆院選の公認候補予定者)に就任します。

自民党的しがらみ政治では、どうしても現状維持的な政策しか提案ができません。たとえばライドシェアの問題のように、団体の反対する政策は、買けない。日本が経済的に凋落しつつあるのに、依然として微修正ばかり続ける与党に、私は強い危機感を抱いてきました(対する既存野党も、無責任な批判ばかりで、まったく頼りになりません)。

特に最近、岸田政権の実行力に、強い疑問を抱くようになりました。異次元の少子化対策はどうなったのか? 令和の所得倍増は? 憲法改正、新しい資本主義、食糧安全保障、拉致問題解決は? 何もできていない。最近、当事者も求めているLGBT法を成立させ、マイナンバーカード活用も停滞、果ては人気取りの“偽減税”まで始める迷走ぶり…これで日本は強く豊かになれるでしょうか?

この危機を、見て見ぬふりはできません。官僚任せ・業界依存の、微修正政治では、危機は乗り越えられない。脱官僚、市民目線の、大胆な改革実行が、いま切実に、必要です。

そのためには“覚悟”が必要です。「身を切る改革」で、政治家自らが、給与を一部返納し、定数を減らす…痛みを率先して享受するからこそ、国民にも大改革を理解してもらう。これは他党にはできません。(続く)

